

令和5年度 長期目標（重点目標）に対する評価

<p>【長期目標】 1 新カリキュラムが順調に進み、学生の看護実践能力、自己成長の評価が向上している。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>看護実践能力：学生の自己評価は学年進度と共に上がっているが、新カリキュラムの学生は低値となっている。カリキュラムの違いがあるため経過を見ていく。</p> <p>自己成長：成長因子ごとの自己評価は新カリキュラムの学生は高く、自己成長感は低い結果となっている。2年生は精神性の強さを表す成長因子（人間としての強さ・人生に関する感謝）が上昇していた。学習に伴う様々な経験により成長感に繋がっている可能性がある。旧カリキュラム最後となる3年生は自己成長感が上昇しており、その根拠もこれまでの学習経過から総合的に振り返り、捉えることができていた。</p>
<p>【長期目標】 2 愛知県保健医療局健康医務部による愛知県看護師等養成所指導調査で文書回答が必要な指摘を受けない。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>7月に指導調査を受け、目標とした「文書指摘」を受けることなく、全体的な書類整備については高評価を受け、学校運営についても適切に成されているとの講評を得た。</p>
<p>【長期目標】 3 受験生の総数が維持でき、卒業時の市民病院への就職が安定している。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>受験生の維持はできなかったが、津島市民病院への就職は安定してきている。</p> <p>受験生確保は海部津島地域で活躍する質の高い看護師の育成において大きな課題となっている。近隣の地域以外の市町村や県外からの学生も修学資金を受けているため、広範囲での広報活動により受験生確保に繋げていく。</p> <p>就職に関する3月時点のアンケートでは、1・2年生とも、80%以上の学生が就職先の見通しを立てていた。就職先を意識したきっかけは、修学資金が一位となっており、“病院の所在地（通勤のしやすさ・利便性・周辺の環境）”が病院選びのポイントとなっていた。</p>
<p>【長期目標】 4 ICT環境の整備が進み、学生、教職員がタブレット端末を持ち、学内でネット回線を利用した授業、実習環境が整っている。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>整備と共に運用の幅も広がっている。オンラインでの学会等への参加、オンデマンド配信の有効活用、オンライン化での患者との交流やグループワーク、課題に関する対応等もシステムの中で実施されている。</p> <p>情報漏洩や学生の情報リテラシーの未熟さの懸念から、タブレットの持ち込みは施設側の許可がない現状があり実習の場で活用はできていない。将来の電子書籍の導入にも影響してくるため検討していく。</p>
<p>【長期目標】 5 電子教科書、カルテ、シミュレーション学習ツールの選定ができている。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>令和6年度からの動画教材はニーズの高い動画を選定でき、PCやモバイル回線等のオンライン下で視聴できるシステムを導入する予定となっている。予習復習、シミュレーション学習に有効活用していく。</p> <p>3年間の新カリキュラムの評価にもとづき、電子教科書、カルテ、シミュレーション学習ツールの選定を継続していく。ICTを活用した授業展開において、導入の必要度も見極めた上で選定していく。</p>
<p>【長期目標】 6 ①学生成績事務 ②学籍管理事務 ③学生健康管理 ④授業管理 ⑤実習管理のデジタル化が進み、データの一元化が整備されている。</p>
<p>- 結果 -</p> <p>事務局側の整備は進んでいる。</p> <p>教務課側は途中段階であり、現行カリキュラムの終了と新カリキュラムの学生が3学年揃うことで切り替えができ、整備しやすくなる。令和5年度末に整備し、令和6年度の一元化の実施に繋げていく。</p>